



成瀬台中学校だより

令和4年度—第5号—

Tel (042)728-6030 HP <http://www.machida-tyo.ed.jp/j-narusedai/>

令和4年9月28日発行

学校目標

[自主]個性をまかし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



感じて、考え、行動する人に

校長 福田 秀樹

9月も後半ですが、日中はまだ強い日差しとともに夏の余韻が続いています。しかし、空の透き通る水色から空の容積が増したことに気づかされます。夕方以降には風が涼味をふくみ、月が美しい季節になったことを感じます。

『徒然草』(第155段)の、「夏果てて、秋の来るにはあらず。……夏より既に秋は通ひ、秋は即ち寒くなり……」という一文は、季節の変化を述べた名文として有名です。夏が減ることで夏の終わりに向かうのではなく、夏のなかに秋の濃さをまし、次第に秋へ移っていく、そして秋冷そのものの中に、すでに冬の寒さがひそやかに始まっているという意味なのではないでしょうか。長い2学期です。感受性の豊かなみなさんには、自然の変化にも敏感であってほしいと思います。

9月8日(木)、イギリスのエリザベス女王が亡くなったというニュースが大きく報じられました。あわせて、エリザベス女王の生前の功績などを紹介するテレビの番組も数多く放映され、その中で印象に残るスピーチが2つありました。1つ目は、第二次世界大戦のただ中、1940年10月に14歳のエリザベス(王女)が、ロンドン郊外やアメリカ合衆国などへ疎開中の300万人の子どもたちを勇気づけるために行った、初めてのラジオスピーチです。以下、その一部です。

「私たちが共有する戦争の危険や悲しみに耐えようと努力しています。……平和が訪れたとき、明日の世界をより良く、より幸せにするのは、今の私たちであることを忘れないでください。」

彼女の父(ジョージ6世)は、元々国王になるつもりがなかったのですが、王位を押し付けられた形である上、吃音症のため、スピーチを非常に苦手としていました。しかし、言語療法士の助けを借りて吃音を克服し、第二次世界大戦がはじまった1939年9月に全国民向けに堂々と国民を鼓舞する演説を行います。その父の努力と苦勞する姿を間近で見ているエリザベスは、父の役に立ちたいとスピーチを決意したのだと思います。同世代の子どもたちをととても勇気づけたと言われています。2つ目は、2020年4月、パンデミックによるロックダウン3週間目に突入した際、女王として、忍耐を強いられている国民に向けたスピーチです。以下、その一部です。

「私たちはこれまでも数々の困難に直面してきましたが、今回はこれまでとは違います。今回は、世界中のすべての国々と協力し、偉大なる先進科学と私たち人間の持てる本能的な思いやりの心を持って、治癒に向けても取り組みます。そして、私たちは必ず成功します。その成功は、私たち一人一人のものなのです。……これから生まれてくる人たちは、この世代のイギリス人はこの上なく勇敢だったと言うに違いありません。……私たちが何者であるかについて抱く誇りは過去の一部ではなく、私たちの現在、そして未来を定義するものです。」

新型コロナウイルス感染症だけでなく、未だ人類が解決できていない課題は多くあります。その課題の解決のために、1つでも自分にできることはないか、社会や世界に常に関心をもってほしいと思います。社会の役に立つために自分を磨く努力を今から続けていきたいものです。

10月の合唱コンクールに向けて間もなく練習が始まります。思い出に残る最高の取組みにするかどうかは、一人一人の熱い思いにかかっています。イギリスの格言に、「熱意は伝染する。」(Enthusiasm is contagious.)というものがあります。日々の地道な取組の先にある熱意が大切です。期待しています。

避難(防災)訓練

9月1日(木)に避難(防災)訓練として、小中連携児童・生徒の引渡し訓練を実施しました。今年は約6割の保護者の方が、参加してくださいました。

今年は3年ぶりの引渡し訓練となりました。いざという時に困らないように教員も手順を確認しながらの訓練となりました。また当日、降雨の予報が出ていたため引渡し方法の変更を一斉メールでお知らせいたしましたが、大きな混乱もなくスムーズに訓練を実施することができました。御協力ありがとうございました。



道徳授業地区公開講座

9月10日(土)に道徳授業地区公開講座を開催しました。保護者の方には、道徳授業を参観していただきました。その後、弁護士の野澤 哲也氏を講師としてお招きし、演題「いじめを克服するために家庭と学校でできること」で講演をしていただきました。講演では、発言者に対し「話を聞く・拍手をする」というルールを設定して進めていきました。

野澤氏は、御自身の経験をもとにいじめる人もいじめられる人も満たされない“何か”があるのではないかと仮定し、その“何か”とは“自己肯定感”ではないかと考えられました。

講演の中で野澤氏の配慮で、管理職に発言の機会はなかったのですが、最後に発言の場をいただき、さらに拍手を受けたときに「これが自己肯定感だ!」と強く感じた管理職Sでした。御家庭でもお互いの話をしっかり聞き、拍手をするという習慣をつけてみてはどうですか?

◆小中交流会(授業参観・分科会)

9月14日(水)に成瀬中央小・成瀬台小と台中の三校合同の教員交流会を本校で実施しました。5校時の中学校での授業を参観し、その後は教科別に分科会を開きました。

分科会の後、体育館で各分科会での話題について全体会で共有しました。授業参観などを通じて、小中教員の交流を深め、新しい発見もあり、充実した交流を行うことができました。

10月のおもな予定

日	曜	内 容	備考
1	土	都民の日	
2	日		
3	月		
4	火	連合体育大会	SC
5	水		
6	木		SC
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火		SC
12	水	⑤生徒総会	
13	木		SC
14	金	進路説明会(PM) ※3年生は6時間授業となります。	
15	土		
16	日		
17	月	全校朝礼 安全指導	
18	火	一斉委員会 ポプラマラソン大会試走	B時程 SC
19	水	中央委員会	
20	木		SC
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	避難訓練	
25	火		SC
26	水	午前授業(弁当なし)	B時程
27	木		B時程 SC
28	金	合唱コンクール(午前のみ)	
29	土	サタデーコンサート@台小	
30	日		
31	月	3年三者面談(始)	

SC:スクールカウンセラー



※昇降口に非接触型検温計を常設しました。御来校の際に御利用ください。

